

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		庭園木引取事業			事業コード	0778
担当課等	所属名	都市整備部 公園みどり課		担当係名		
	課長名	都市整備部 公園みどり課	担当者名	豊岡 淳		電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード 4
	基本事業	公共空間の緑化推進	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 6目 花と緑のまちづくり事業(007-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和61年度～)					
事務事業の概要	市民から申出を受け、やむを得ない事情により不要になった樹木等のうち、有効活用できるものを一定の要件のもとで、市が引取って公園等に移植し、緑の有効活用を図る。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市民の緑の財産を有効活用するため、昭和61年度から事業を開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
家屋の増改築や駐車場整備等に伴い、市民から早急に引取ってほしいと要望される場合が多いが、樹木の移植時期を考慮して発注する移植工事との調整がつかず、引き取りを断らざるを得ない場合が多い。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどのように変化したか。今後の見通しはどうか						
高齢化が進み、庭木を維持管理することが困難になってきていることや、庭の緑のスペースを駐車場などに改造する傾向があることから、不要になる樹木等は今後も出てくると考えられる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 引取り申し出樹木本数	単位	本
			B.	単位	
			C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 移植樹木本数	単位	本
			B.	単位	
			C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 累計移植本数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	本
			B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
			C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	街路樹のある道路延長(単位:km) 公的緑化推進制度の利用件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	引取り申し出樹木本数	本	29	73	50	159	50	50	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	移植樹木本数	本	25	28	30	14	30	30	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	累計移植本数	本	1256	1,284	1,314	1,328	1,358	1,388	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	493	450	425	374	500	500	*****
財源 内訳	④国	千円					250	250	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	493	450	425	374	250	250	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	493	450	425	374	500	500	*****
	延べ業務時間数	時間	150	180	180	180	180	180	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	600	720	720	720	720	720	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	1,093	1,170	1,145	1,094	1,220	1,220	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 住宅の敷地内の樹木が、公園等の公共空間に植栽されることから、公共空間の緑化に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 公園等の公共施設における緑化を図ることから、市が行うべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象は現状で網羅されている。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 現状で公共空間の緑化に結びついており、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 事業費が低水準で推移しており、引き取れる本数が限られることから、成果の向上余地はない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: やむを得ない事情により不要になった私的空間の樹木の有効活用ができなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費が少ないことから、移植対象を絞って対応している状況であり、事業費の削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 移植を1回の工事に集約して実施しており、これ以上の削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 庭園木の引取りは、一定の引取り条件に合致する場合にのみ実施しており公平である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公園等の公共空間の緑化のための樹木を無償で引き取るものであり、市が移設費用を負担するのは妥当である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 移植先の公園などその必要樹木の整理を進めることにより、申し出に対して適切に対応できる体制づくりが必要である。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 予算の限界から、申し出に添えない状況があることから、事業費の確保が課題である。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>本事業が廃止されれば、私的空間の不要樹木を活用できなくなるため、有効活用の観点から今後も事業の継続が必要であるが、予算の制約や移設希望時期の観点から申し出に応じ切れていない事案があり、効率面での課題がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>市の予算額や申出者の移設希望時期との不整合により、申し出に応じ切れていない事案があるため、市の体制などを丁寧に市民にお知らせしていく工夫により、より多くの申し出に応じられる体制づくりが必要である。</p>									